

松瀬青々 あおせ 俳人。明治二年四月四日大阪生れ、昭和十一年一月九日没（二八六一—一九三七）。本名彌二郎。別號及菴堂、孤雲、松瀬邦武、無心、老葉峰等。銀行員を経て大阪朝日新聞社入社。新聞『日本』、俳誌『ホトトギス』投稿後、明治二十四年『寶船』を、大正四年『菴鳥』を創刊主宰。關西俳壇の重鎮。

著書、清々『妻木』全四冊（冬之部・明治二十七年十一月—二十八年大阪・春之部・二十九年一月—二十七年大阪・夏之部・七月—二十八日、秋之部・二十九年一月—二十七年大阪・實松發行所）、『現代俳句』二家

集』（内藤 鶴雪河東碧梧桐合著・高木米神編、明治四十四年五月七日大阪・文徳堂書店）、『俳句作法講座』第二卷』（合著・山本三生編、昭和十

年十一月—二十日改定社）、清々『妻木』（昭和十二年四月十日大阪・

菴鳥社）、『添削少録』全二冊（上・昭和十五年七月五日、下・九月十五日大阪・菴鳥社）、『隨感と隨想』（昭和十七年七月十五日大阪

・菴鳥社）等。